

(4) 車両確認用のカメラ



- ・3地区とも、超小型モビリティの駐車スペースを映す車両確認用のカメラを設置する。
- ・モニター全員が、カメラが映した映像をインターネット上において、リアルタイムで見ることができ、その時間に駐車場に車両があるかないかを確認できる。

**➡予約した時間に駐車場に行って車がなかったという事態を防ぐ
(想定)**

予約したつもりができてなかった。

直前の利用者が予約時間を過ぎて利用し、返却が間に合わなかった。 など

＜映像閲覧方法＞

インターネット上の予約ページに、映像を閲覧するためのリンクを貼ってあるので、クリックする。

[車両確認用カメラの映像はこちら](#)



クリック！



(5) アンケート調査(案)

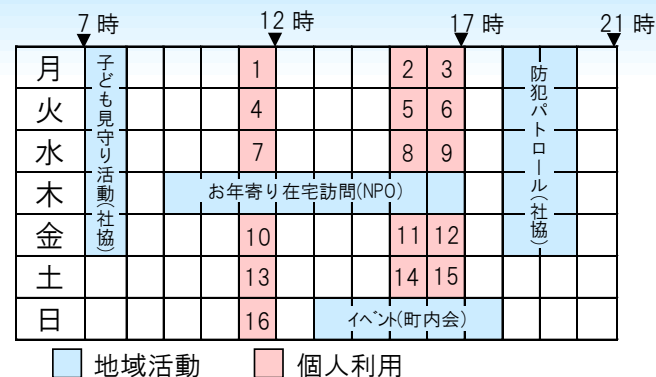
- ・利用モニターに, アンケート調査への協力を依頼
- ・実施のタイミングは, 実験終了後を予定

調査対象	調査項目
各モニター	・ 超小型モビリティの評価 ・ 超小型モビリティ・共同利用の利点と問題点 ・ 予約システム・鍵ボックスの利用しやすさ ・ 車両の活用意向及び支払可能額 など
各地域団体の代表者	・ 超小型モビリティの評価 ・ 予約システムや鍵ボックス利用時のトラブル ・ 地域活動への車両の活用意向及び支払可能額 など

超小型モビリティの本格運用イメージ

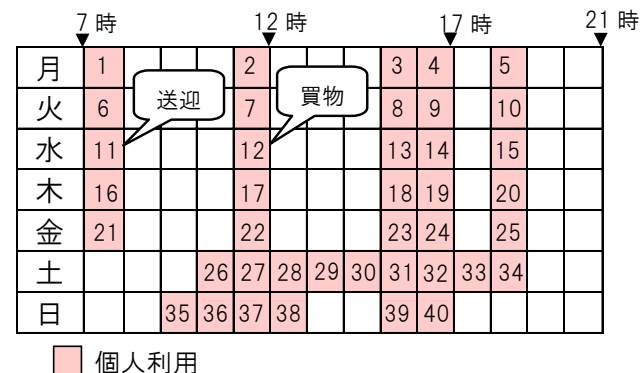
Case1 社会福祉協議会等の地域団体が車両の管理・運営を行い、地域活動を中心に車両を利用

- 利用者: 社会福祉協議会、社会福祉協議会に属する地域団体(町内会等)、NPO等の各種団体(地域住民の個人利用も可能)
- 利用目的: 子どもの見守り活動、防犯パトロール、高齢者の在宅訪問(家事・買物支援、安否確認)などを想定



Case2 公共交通機関が十分でない住宅団地や集合住宅の管理組合等の団体が車両の管理・運営を行い、個人活動を中心に車両を利用

- 利用者: 主に町内会等の団体に所属する個人が利用(団体の活動に利用することも可能)
- 利用目的: 送迎、買物などを想定



[ある1週間の予約イメージ]

$$\text{初期費用 (車両購入、充電設備など)} + \text{維持管理費用 (保険、税金、電気代など)} \leq \text{収入}$$

≦

収入

・・・採算成立

採算が成立するための利用料金の設定(個人や団体の負担額)や公共支援について、今年度の実証実験の結果などを踏まえ検討していく。

Ⅲ-4 車両の認知度向上のための取組

実証実験の期間中の地域イベントにおいて試乗会等を行い、市民等に対する取組の認知向上を図る。

■出展予定のイベント（調整中）

- | | |
|------------|------------------|
| ○沼田ふるさとまつり | 11月14日(土)・15日(日) |
| ○ビジネスフェア | 11月17日(火) |
| ○石内公民館まつり | 11月29日(日) |

参考 他都市の事例

(1) 横浜市 左近山団地

一般居住者向けのカーシェアリングの実施

実施概要

1. 目 的
 - ① 最寄駅までのバス便を補完
 - ② 地域の活性化に資する様々な活動
 - ③ 団地居住者の利便性の向上
2. 実施主体：独立行政法人都市再生機構東日本賃貸住宅本部、日産自動車株式会社
3. エ リ ア：横浜市旭区の左近山団地（賃貸）を中心とした地域
4. 期 間：平成27年3月～平成28年3月（予定）
5. 内 容
 - ① 車 両：NISSAN New Mobility Concept
 - ② 台 数：5台（予定）
 - ③ シェアリング運営方法
 - ・ 超小型モビリティ車体本体と充電コンセントの無人鍵貸し出し・返却
 - ・ 車体のあり・なしの利用状況が分かるwebページ
 - ・ 交通系IC 乗車券の登録

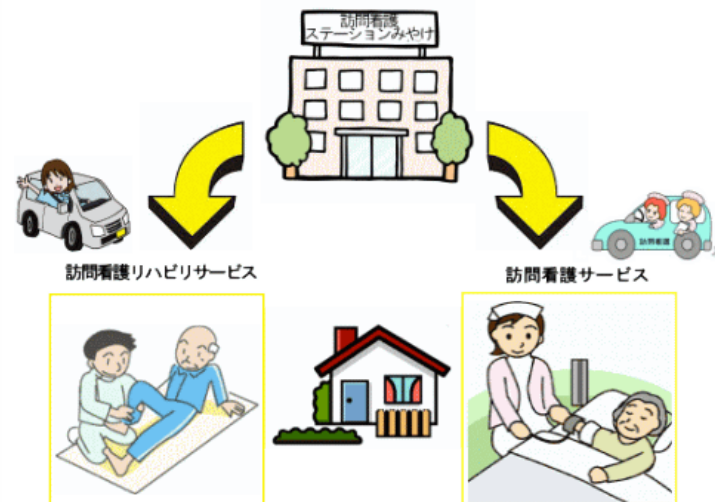


(2) 香川県高松市

市街地を中心とした医療等の訪問サービスの実施

実施概要

1. 目 的
市街地を中心とした医療等の訪問サービスにおいて、超小型モビリティを試験的に3台導入し、その有用性（狭い道路や駐車場での利便性、電気自動車の静粛性など）を検証
2. 実施主体：一般財団法人 三宅医学研究所
3. エ リ ア：高松市（塩江町、香川町、香南町、国分寺町、庵治町及び牟礼町を除く。）
4. 期 間：平成26年10月～平成29年9月
5. 内 容
 - ① 車 両：NISSAN New Mobility Concept
 - ② 台 数：3台



(3) 神奈川県厚木市

超小型モビリティによるパトロールの実施

実施概要

1. 目 的
昼間は、介護現場で在宅訪問に使用されている超小型モビリティを、夜間は青パトとして活用
2. 実施主体：市民団体「ブルーライン」（厚木警察署から自主防犯パトロール隊を委嘱）
3. エ リ ア：厚木市
4. 期 間：平成27年1月～平成27年3月
5. 内 容
 - ① 車 両：NISSAN New Mobility Concept
 - ② 台 数：1台



(4) 神奈川県横浜市

大規模な乗り捨て型のカーシェアリングの実施(チョイモビヨコハマ)

実施概要

1. 目的
 - ① 低炭素交通の推進
 - ② 都市生活・移動のクオリティアップ
 - ③ 横浜観光の振興
2. 実施主体：日産自動車(株)、横浜市
3. エリア：横浜市内全域
4. 期間：(第1期)平成25年10月～平成26年10月
(第2期)平成26年11月～平成27年9月
5. 内容
 - ① 車両：NISSAN New Mobility Concept
 - ② 台数：(第1期) 70台 (第2期) 50台
 - ③ シェアリング運営方法
 - ・ 予約はスマートフォンまたはパソコンから
 - ・ 利用時には専用ICカードを使用
 - ・ 料金プランを2つ用意 ※別途法人向けも導入

プラン① 30円/1分 無料利用なし 月額会費0円
プラン② 20円/1分 無料利用50分/月 月額会費1,000円



(出典:チョイモビヨコハマ運営事務局HP) 28

VI 今後のスケジュール(案)

	平成27年度									平成28年度
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
超小型モビリティの有効性の検証	実証実験 イベント活用による認知度向上 結果とりまとめ 車両の市販化など国の施策展開の情報収集 地域団体等による共同利用の本格実施の判断									
研究会	○ 第7回 ・実験概要 ・調査方法 (今回)						○ 第8回 ・実験の結果 とりまとめ			